



広報

# あいら

第225号

## 町の人口動態 (前年同月との比較)

昭和61.4.30現在	昭和60.4.30現在
35,812人……人口	……35,414人
16,853人……男性	……16,702人
18,959人……女性	……18,712人
12,347戸……世帯数	……12,148戸



豊かな

環境を守ろう！

快適な環境でのびのび育った三船小学校の子供たち——。

実に器用に一輪車を乗りこなしていました。

この子供たちの笑顔を守るため、そして自分たちの住んでいる町や自然の残った野山などをさらによりよい環境にするために、わたしたちはどのようなことを心がければよいのか考えてみましょう。

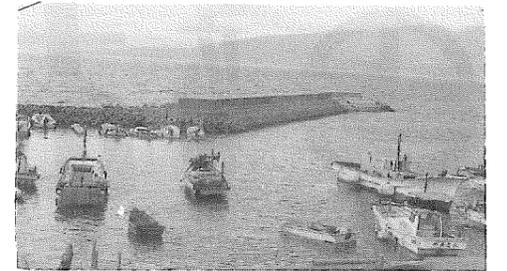


臨時河川等整備事業

一般会計

# 最終予算は 昭和60年度

# 58億6,237万円 の財政事情



重富漁港局部改良事業

〔3月末での予算及び執行率〕

区分	60年度予算額 (千円)	60年度予算執行額 (千円)	執行率 (%)
歳入	5,862,376	4,398,262	75.0
歳出	5,862,376	4,565,606	77.9

※歳出が歳入より大きくなっていますが、一時借入金で補っています。

主な歳入科目の解説

【町税】行政に要する一般経費を賄うために住民等から徴収する課徴金であって、本町では、前ページの上の表のように町民税、固定資産税、軽自動車税などを課税徴収しています。

【地方譲与税】地方道路譲与税法、自動車重量譲与税法などによって国が国税として徴収し、一定の基準により地方公共団体に譲与するものです。【地方交付税】基準財政収入額が基準財政需要額に充たない地方公共団体に対して、

国が交付する財政援助資金。なお、地方交付税の総額は国税三税（所得税、法人税及び酒税）の収入額のそれぞれ三三三割の額と定めてあり、また、これは普通交付税と特別交付税とに区分され、その比率は、九四対六とされています。

【国庫・県支出金】国又は県から町の当該事務に係る財源の全部又は一部として相当の反対給付なしに交付される歳入をいう。国庫支出金は、国の歳出予算の支出手続により直接国庫から交付される歳入であり、県支出金は、県の歳出予算の支出手続により県から交付される歳入となっています。

【町債】町が事業を行う場合に第三者（大蔵省、郵政省など）から長期にわたり借入れる資金。単に当該年度中の一時借入金は、町債には含まれない。

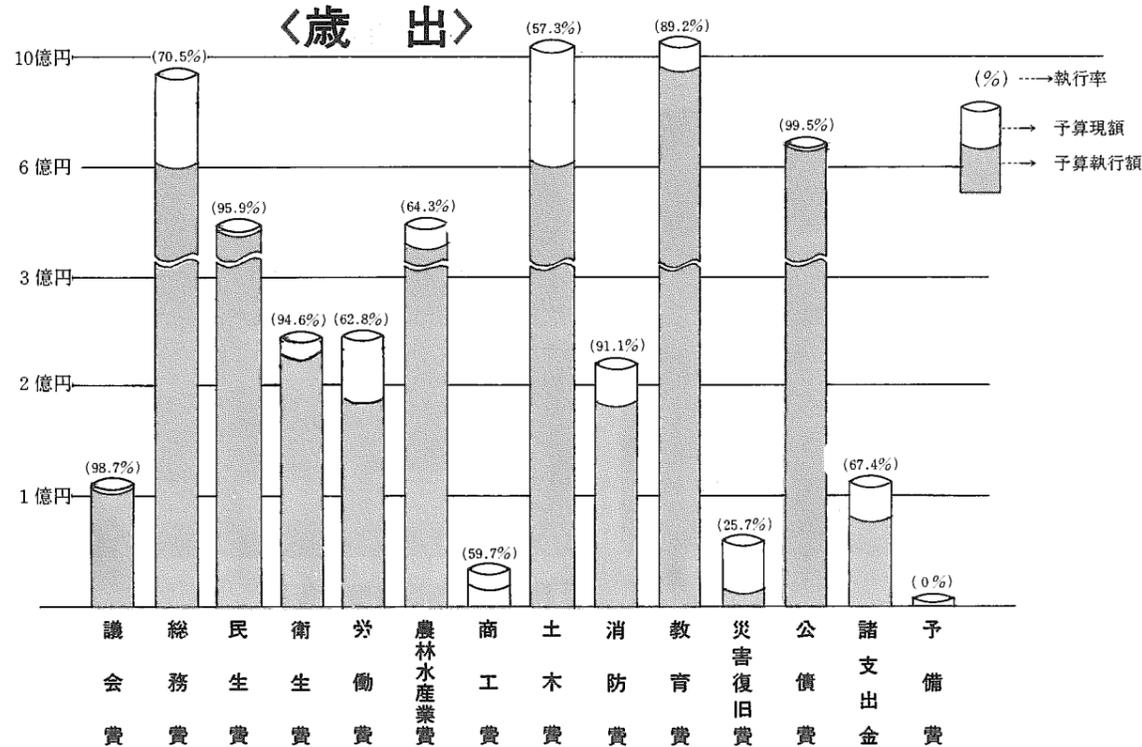
〔町税収入及び住民負担の状況〕

区分	予算額 (千円)	1人当たり負担額 (円)	1世帯当たり負担額 (円)
町民税	777,100	21,853	63,718
固定資産税	775,000	21,794	63,545
軽自動車税	24,900	700	2,042
たばこ消費税	101,900	2,866	8,355
電気税	74,800	2,104	6,133
木材取引税	38	1	3
都市計画税	51,200	1,440	4,198
特別土地保有税	1,400	39	115
国有資産等所在市町村交付金及び納付金	24,300	683	1,992
計	1,830,638	51,480	150,101

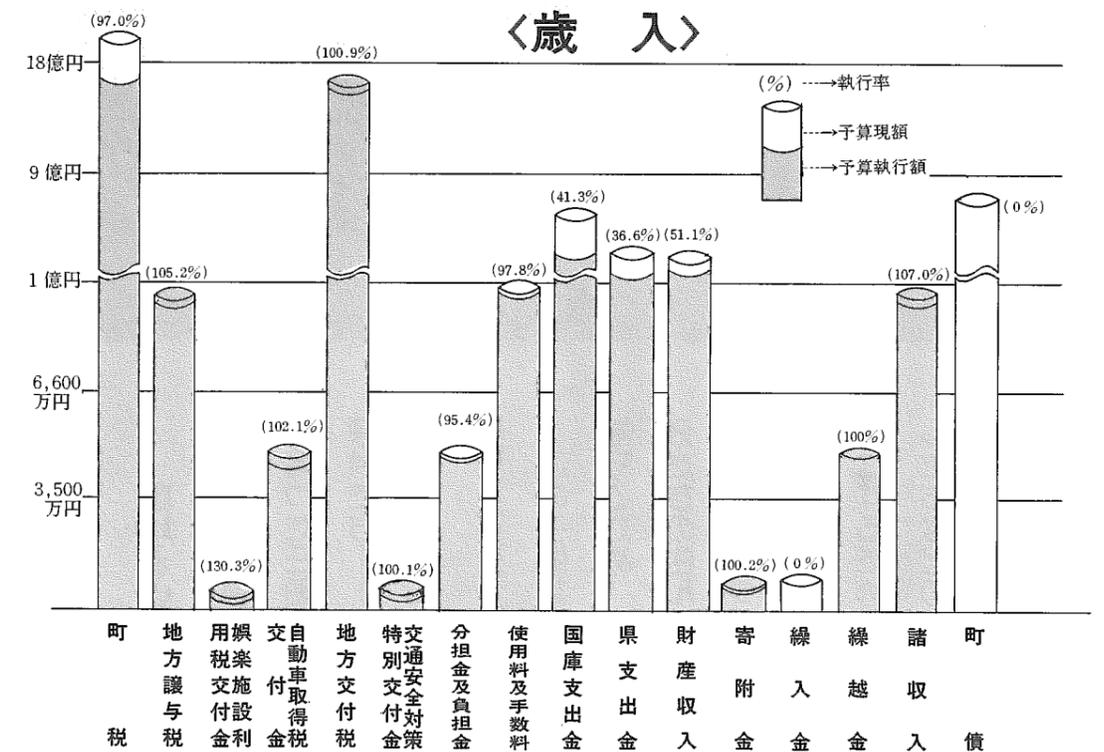
※昭和61年3月末日現在の人口及び世帯数で算出

財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、昭和六十年下半期（三月底現在）の財政事情がまとまりました。  
下半期は、主に財政調整基金積立金、土地開発基金への繰入金、帖佐小学校用地購入、減債基金積立金など三億九千九百三十六万円の追加予算を計上し、最終的な昭和六十年年度の予算規模は、五十八億六千二百三十七万円となりました。  
各種事業の進みぐあいもよく、予算の執行率は歳入で七五割、歳出で七七割となっています。  
なお、出納は毎年五月底をもって閉鎖するようになっており、残り二カ月で出納整理を終え、決算となります。  
歳入・歳出の各科目別予算現額及びその執行状況は、下記のグラフをご参照ください。

〈歳出〉



〈歳入〉



## 【産業経済施設事業】

(単位：千円)

	事業費	県支出金	簡保資金	その他	一般財源
⑤農道改良(4線)	38,000	15,200	17,100	—	5,700
⑥農道舗装(6線)	40,500	16,200	18,000	—	6,300
⑦かんがい排水(2線)	8,120	3,654	2,700	678	1,088
計	86,620	35,054	37,800	678	13,088



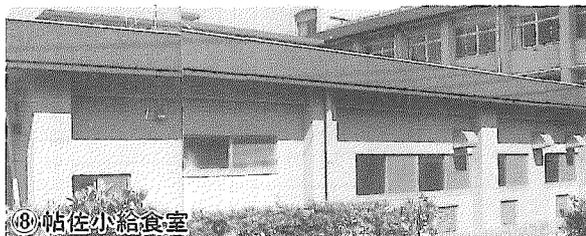
⑤農道改良(4線)



⑥農道舗装(6線)



⑦かんがい排水(2線)



⑧帖佐小給食室



⑨西始良小給食室

## 【文教施設事業】

(単位：千円)

	事業費	国庫支出金	簡保資金	一般財源
⑧帖佐小給食室	29,350	7,348	16,400	5,602
⑨西始良小給食室	20,238	6,574	10,200	3,464
計	49,588	13,922	26,600	9,066

60年度

## 簡易保険積立金 還元融資事業

皆さんから「郵便局の簡易保険」としてお預りした簡易保険積立金は、市町村などの地方公共団体に融資され、公共の利益になるよう運用されています。本町でも、60年度2億7,380万円の融資を受け、学校や公園、農道改良等に活用され、明るく豊かな町づくりのために貢献しています。それによって建設された主な施設をご紹介します。

### 【公園緑地事業】

(単位：千円)

	事業費	国庫支出金	簡保資金	一般財源
①船津公園	16,000	8,000	6,000	2,000
②始良総合運動公園	179,203	5,000	82,500	91,703
計	195,203	13,000	88,500	93,703



①船津公園



②始良総合運動公園



③西始良小校舎



④山田中校舎

### 【義務教育施設整備事業】

(単位：千円)

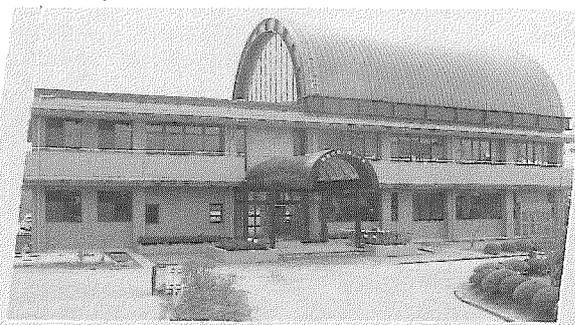
	事業費	国庫支出金	簡保資金	一般財源
③西始良小校舎	217,755	108,838	81,600	27,317
④山田中校舎	95,413	24,767	39,300	31,346
計	313,168	133,605	120,900	58,663

# 始良町働く婦人の家開館

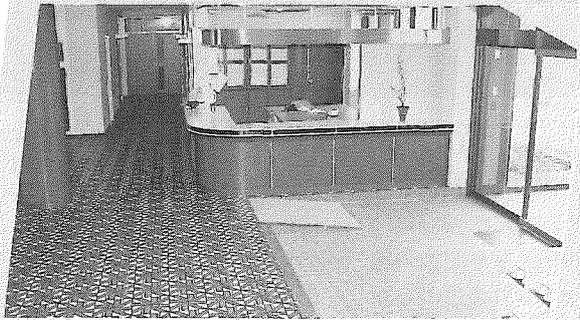
五月一日、老人福祉センターの敷地内に「始良町働く婦人の家」が開館しました。この施設は、働く婦人や家庭婦人の福祉の増進と地位の向上を図ることを目的とし、生活をより豊かにするための教養講座、スポーツ、レクリエーション、各種行事や相談の場などに利用できる施設で

す。気楽にくつろぎ語り合い、婦人の心のよりどころにふさわしい「いこいと教養の場」として、活用してください。六月から始まる定期講座をご案内します。

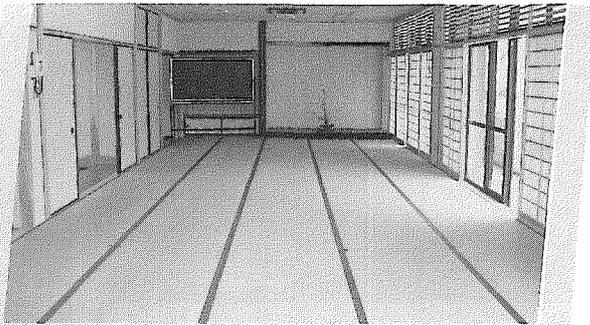
○ペン習字講座（文字を正しく、美しく書けるように漢字、ひらがなの基礎と応用）  
○華道（池坊）講座（季節の花をあなたの手で、基本花型



始良町働く婦人の家全景



① 玄関ロビー



② 第二講習室



③ 軽運動室



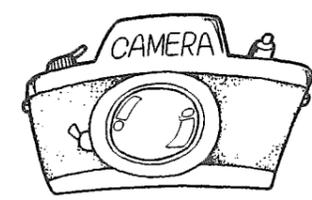
④ 料理実習室

から応用まで）  
○料理講座（季節の材料で栄養のバランスのとれた料理やおやつ作り方）  
○手芸講座（あなたの手で編物、小物、フラワー等を…）  
○書道講座（落ちついたひととき、楷書・行書の基本を学びます）  
○着物着付け講座（一人で行える着物の着付けと帯の前結びを習います）  
○民謡講座（踊りで日本のよさを見直しましょう）  
○エアロ・ジャズ体操講座

（エアロビクス、ジャズダンス、ヨガ、フォークダンス等、リズムに合わせて楽しく運動して健康な体を！）  
**施設の内容**  
①玄関ロビー（ここには、ゆっくりとくつろげるスペースと、ミニ図書コーナーもあります）  
②第一・第二講習室（華道講座や着物着付け講座等、各種講座に利用できます）  
③軽運動室（自然の光をたっぷり採り入れた明るい運

動室です。卓球・バドミントン・ミニバレー・ジャズダンス等、多目的に利用できます）  
④料理実習室（団体で、栄養のバランスのとれた家庭料理や手軽にできるおやつ作り方の実習等ができます）  
その他に、会議室や婦人の悩みごと相談室、託児室もありです。なお、施設建設に当たり、中小企業退職金共済事業団還元融資金九千八百七十万円の融資がありました。

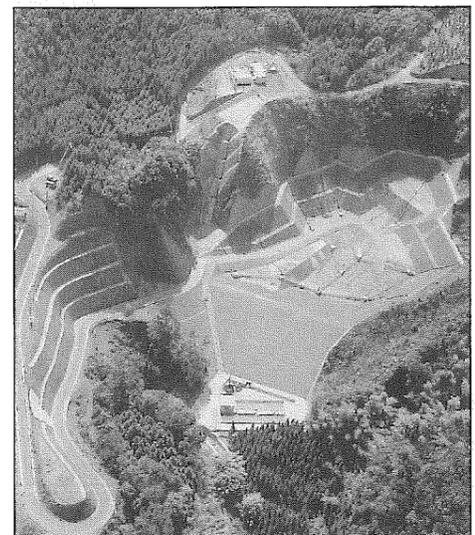
# まちのわだい TOWN NEWS



## 新しい先生よろしく

昭和61年度教職員・就任式（4月12日）

中央公民館で、教職員の就任式と歓迎会が行われました。全員で町民憲章朗読の後、西野町長をはじめ中山教育長や町議会の小川議長から新しく町内の小・中学校に赴任された48人の先生がたに、歓迎と激励の言葉が贈られました。



## 最新の施設です

一般廃棄物最終処分場完成

各家庭から出されるゴミの量は年々増加しています。そのため、始良西部五ヶ町のゴミ焼却残灰の処理を行う最新の一般廃棄物最終処分場が、加治木町に総工費2億7,900万円をかけて完成し、4月26日、現地で今後の運営と安全を祈念して竣工式が行われました。



## 緑あふれる公園

船津公園が整備されました

このほど、船津公園に、約1,500万円をかけて、クルメツツジやヒラドツツジ・カンツバキ・ソメイヨシノザクラなど約14,000本が、植栽されました。公園内はたくさんの花や木でおおわれて訪れる人々の目を楽しませています。



## 収納・支払が便利

指定金融機関制度がスタート（4月1日）

公金の収納及び支払事務を安全・確実かつ迅速に行うため、指定金融機関制度がスタートし、役場会計課前でテープカットが行われました。

この制度によって直接役場に出向いてこなくても指定金融機関等で、税金・年金保険料等の納入ができるようになりました。詳しくは、役場会計課にお問い合わせください。

## 健康にいいですよ

歩こう会（5月16日）

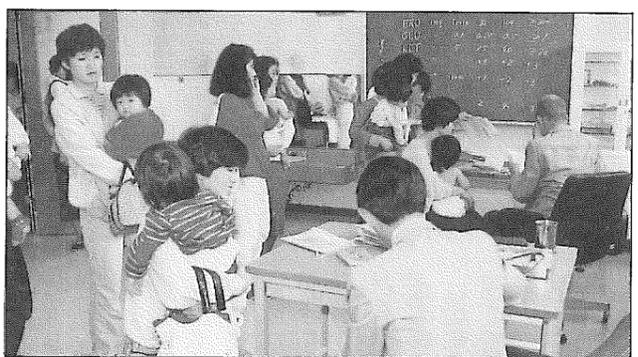
町歩こう会（内田正男会長）では、毎月一回会員の親睦と健康の増進のために、歩こう会を実施しています。今回は、中央公民館からやすらぎの里までのコースに約50人が参加。やすらぎの里では、お年寄りのかたがたの話し相手やお世話をしました。



## スポーツ大好きです

開校3周年記念運動会（5月6日）

西始良小学校（馬場正之校長）で、開校3周年を記念して運動会が行われ、児童たちは、各種目に汗を流していました。この西始良小、開校当時の児童数は、191人でしたが、年々増加して、現在では268人になっています。



## みんな健康優良児

1.5才児健康診査（4月10日）

うれしそうな顔、不安そうな顔、泣きべそ顔……の幼児約30人が、お母さんに連れられて保健センターに集合。身体計測や検尿、歯の検診などの健康診査が行われました。

## あいら文芸

### 短歌

黒々と壺の肌入が火を恋ふる  
霧雨深く里を包む日 月野 与  
新しく張りしサンテラス春空  
を映して光は胸の裸まで 上山 満子  
地の匂ひ草いきれする野にか  
がみ吾も地蔵の貌になりゆく 川畑 茂子  
わが事にかまけて暫し怠れる  
外国宛に花の便りす 西村かつゑ  
桜咲く甲突川に風立ちて花と  
魚とが渦巻きてゆく 宅間 和子  
負い帯に幼児抱く若き母髪ほ  
うぼうとハイヒール履く 富ヶ原モリ  
五月雨が深緑の芽に降りいそ  
ぐ (北山中) 山下真知子  
あじさいに朝日まぶしく梅雨  
近し (北山中) 隈元 里美  
菜の花が風にゆられて夕日かけ  
(北山中) 山口 美穂

### 俳句

駅伝で共に走りし夏の雲  
(帖佐中) 基永 強  
巢をあとに大空かける夏つば  
め (帖佐中) 前原亜希子  
紫陽花のひとときわ映える雨あ  
がり (重富中) 井手 健一  
谷川に桜の花びら流れゆく  
(重富中) 田代 祐子

### さつま狂句

飲まん言で嫁御い来たや上戸  
も上戸 (高橋) 忠雄  
無口者ちつと飲んだや口ちや  
合わじ 永田 伸一  
呑しころわが家ん焼酎は引つ  
こめつ 石野 博海  
飲んもそち手ぶらでずうず上  
がいの込 飯田 静子  
晩酌で二日酔い 山路 市子  
飲れ 山路 市子  
飲ん過ぎた焼酎が言わせた大  
て自慢 中野 博  
晩酌い御飯ぬ出たや掘いでけ  
つ 花田 節子  
二日酔いは焼酎は見ろごちや無  
かち言つ 長野 琢治  
焼酎一合鬼の首でん取ろそな  
態 吉永護 球  
飲んだ時きや妻よ 妻よち優し  
ゆし 三條風雲児

# 町制施行30周年記念論文

町制施行三十周年記念論文の入賞者は、前回の「広報あいら二四号」に掲載いたしました。今回は、第一席に入賞されました宮田忠さんの論文『始良町五万都市をめざして』をご紹介します。



宮田 忠さん  
錦江団地  
63歳

## 始良町五万都市をめざして

### 1 はじめに

始良町は人口三万五千余人。町制施行の町村中県下で最大規模の町である。人口は、更に年々増加の一途をたどっている。地理的・経済的に活気のみなきる町である。

正面に桜島を眺め、背後に始良カルデラの外壁としての山々を擁した、水豊かで温暖な史跡的にも恵まれた交通の便利な地である。それ故に人々は、この地を「永住の地たらしめん」とするのであろう。

このすばらしい発展性を内蔵する本町を、単なる鹿児島市や周辺市町村のベッドタウン的な存在とせず、雇用力ある活力に満ちた町にしたいと考える。そのためには、「雇用力の拡大」・「高校・大学の誘致」・「生活環境の整備」という三本の柱が必要である。

### 2 雇用力の拡大

#### (一)工場誘致

工場誘致が雇用機会拡大の中心的手段である。今日の社会情勢あるいは国際社会から考えて、集積回路工場・食品加工工場・セラミック・バイオテクノロジー関連工場などがあげられる。

コンピュータから家電製品まで、あらゆる分野で今後ますます発展していくものと

考えられる。本町にも既にIC関連工場がある。電子機器生産工場などと連動して低コストを考え、技術研究所などを併設すれば、大学誘致も必然的に可能視されるに至るものと思う。

### (二)農業経営

次に農業面であるが、本町には農業の低所得化・減反政策及び農地の宅地化などによる農業人口の減少を食い止めるだけの十分な雇用の場がない。また、地元就職を希望する卒業生に対する就職の場が確保されていない。活力みなぎる町・五万都市実現のためにどうしても雇用の拡大が必要である。

有機的な農法による米はうまい。本町の農家で実施されている「掛けばし」は、茎から栄養を吸収して実が完熟する。太陽乾燥なので発芽する「生きた米」である。機械乾

燥は実が完熟していないので発芽しない「死んだ米」になつてしまい味もよくないといわれる。

有機的農法にバイオテクノロジーの発想を活用すれば、生産性向上と品質の改良、雇用面及び農業人口減少の歯止めにもなる。

外国は土地はたしかに広い。しかし、乾燥地帯が多いので草の成育が悪い。神様はよくしたものである。土地は欧米に比べて狭いが、水と太陽がある。したがって、草の成育がよいので米作水田を有畜水田としても利用する。複合経営に転換していくならば、飼料を自給するだけでなく、牛の糞尿による有機肥料を十分に自給し、農業購入も少なくなるので、コスト安になる。

農業・化学肥料・大型機械石油乾燥といった「反生態学的な省力化」農業から太陽エネルギーと生態学の原則を十分利用した高生産性農業に転ずる、かえすこと。こうして、飼料生産・食品加工企業の誘致による雇用の拡大が期待できる。このことが、また農業

政策の要ではなからうか。

以上のことは、別府川、思川の豊富な水量の保証があつてこそ実現できることでもある。ここに別府川、思川の開発とともに、この両川の恵みを町発展に創意利用することが大切である。

### (三)その他

若者が金融機関・デパート・スーパー・保険会社・銀行商社・公共機関などを就職の目標にしていることを考えると、これらの立地条件作りも大切である。幸い本町では、既に人口や産業の集積が少しずつなされてきているため、立地の好条件が整いつつある。

また、豊富海水浴場を整備し、海浜公園として総合レジャーセンター等を建設する。週休二日制、社会の高齢化など余暇利用によってスポーツ・レクリエーションの場が必要である。この意味から、既に本町が計画又は実施している、サンピアあいら、総合運動公園、体育館などはますます必要になってくるものである。このような施設は、新しい都市作りと人口の町内で

の分散という面からも効果は大きいと考えられる。

### 3 高校・大学の誘致

町発展の基盤は、なんといっても人づくりである。今後始良町の発展として、高校・大学の誘致が考えられる。加治木町・単人町・国分市にそれぞれ高校・大学があるように、本町にも高校・大学を是非設置すべきである。

人材教育はもちろんのことであるが、多くの高校生を県外に放出する歯止めにもなり、父母の教育費負担軽減と併わせて、町づくり五万都市づくりにもなる。また、経済面の軽減ばかりでなく、各種産業振興にも大きく寄与するものである。

大学誘致の際考えられることとして、雇用拡大の(一)のところでも述べたように、IC関連工場等と連動して特定分野についての高水準の人材を育成する。遺伝子工学・農学部・電子工学・海洋資源工学等、新技術開発に貢献する総合大学、あるいは工科大学の誘致が望ましい。現在、多くの大学が大都市に集中し

ているため、地方へ分散していかうという考えが浸透しつつある。これらのことを総合して考えると、始良町への大学誘致も可能性が充分にある。

### 4 生活環境の整備

これからの本町の発展を考えるにあたって、住宅施設の先行的整備も必要である。基本的施策としては、「公営住宅の整備」と「住宅団地の造成・整備」があげられる。

若年層では、住宅建築も簡単にできず、アパート入居も家賃が高い。これでは定住しようと思ってもなかなかである。しかしほとんどの若者がマイホームを望んでいる現代でもある。

開発にあたっては、乱開発や交通渋滞はもちろん避けなければならぬ。将来を見通した計画的整備が必要である。また、急速に進行しつつある「車社会」に対応するため、既に本町が計画している駅前通りを中心とした道路整備計画も必要であり、生活道路の新設改良は極めて重要である。特に国道十号線バイパスの早期完成が望まれる。

その他、建設すべき環境衛生施設として、公共下水道とごみ処理場の二つがある。現在住宅団地では、水洗トイレ化がなされ、下水も完備しガスの集中管理化がなされつつある。文化的な都市生活を実現するための必要必須条件でもある。五万都市を目指す本町として、家庭及び産業廃棄物処理の施設は、充分に考えておくべきである。生活用水・工場用水の確保も計画しておくべきである。

また、若年層の定着する魅力ある町づくりのためには、商店街の整備充実が必要である。本町では、現在タイヨー・

こうか・Aコープ等の店舗が整備されており、購買力も向上してきている。しかしながら、これらの店舗と共同店舗化等による核の形成・アーケード化の整備がなされていない。町民の欲求にこたえ得る程の規模でない。従って、消費者が鹿児島市へ流出するのである。魅力ある商店街づくりに努力してほしい。

将来を考え、町の中心地にバスターミナル・駐車場・若

年層を引きつける温泉プールなどを備えたビルの建設、その中にスーパー・高級品専門店街・レストラン・喫茶店などをテナントにいれ商店街の核を作る。こうなれば、人は集り購買力はアップし、魅力ある町となるものと考ええる。

本町の商店経営者の方々も努力しておられるようですが、更に一層の奮起を期待する所である。

また、医療施設として「総合病院」の整備が望まれる。救急患者がでても他市町へ転送される事実や夜間急患センターの実現など医療面での不自由が多いのも事実である。

教育文化施設面においては、現在社会教育課や文化協会等が中心になって頑張っておられる。これから整備すべき教育文化施設として、コミュニティセンター・博物館・美術館・文化センター・青少年研修センターなどが考えられる。特にコミュニティセンターは、各地域における町民相互の意見交換の場として、あるいは親睦を深める場として、特に必要な施設であると考ええる。

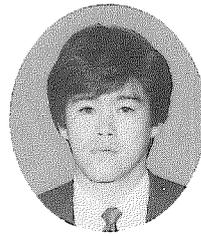
豊富海水浴場、思川周辺を含めた海浜公園も必要であると思う。計画実現に当たっては、広域で創意に富んだものであり、年間の観光客が一千二百万人といわれるデイズニランドの発想のものでありたい。

### 5 おわりに

本町は、今や輝かしい発展をめざして進行している。この現実を眺め、これまでに尽力された人々に感謝の意を表しながら、私のつたない私なりのデッサンを描いてみた。もちろん一度にすべてが実現できるものではなく、他市町村との一体整備を図る必要のものや、また建設的ハード面だけでなく「ホームヘルパーなどの育成」等ソフト面の整備も必要である。

町制施行三十周年記念を祝福し、今後の町発展の指針の一つにでもなれば幸せである。以上

※ 企画課では、三十周年記念論文集を作成しましたので、ご希望の方は(六六六一三一一)内線二二二)までお問い合わせください。



西始良小 枝元 俊博先生 (23歳)

今度、鹿児島大学教育学部を卒業し、西始良小学校へ着任しました。やっと念願の教師になれた喜びと、大切なご息をお預りする責任の重大さをひしひしと感じています。今は、一生懸命にやっている状態で、忙しいながらもとても充実し、満足感に浸っています。クラスの子供たちは私を「先生」といつて慕ってくれます。子供たちにとっては、新採ということは関係なく、ベテランの先生がたを見るのと同じ目で私を見ているのですから、信頼される教師になるよう、自分を磨いていかなければなりません。新任としての心掛けはいろいろありますが、子供を中心に物事を考え、実践していかねければならないと思っています。指導力を高めるため、たえず研修にはげむ決意です。



始良小 竹之内正文先生 (25歳)

新学年がはじまった4月、町内の小・中学校に、フレッシュな先生がたが赴任されました。新規に採用された11人の先生がたをご紹介します。



帖佐小 儀積田志保先生 (20歳)

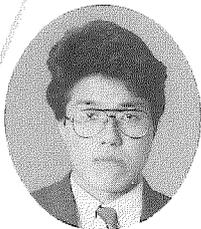
四月一日に四十四人の三年二組のクラス担任となり約一カ月が過ぎました。その間、いろいろな行事に追われ、自分でじっと考えてみる余裕がなかったようです。これは、学校の行事・日程や児童の実態を十分把握していなかったからだと反省しています。特に、学級経営の難しさや学習指導・生徒指導において、全体の掌握が難しいということを知りました。授業中と休み時間のけじめ、そうじ・給食のしかた、ことばづかい等もしっかり指導する必要があると思えました。子供には、ベテランも新任も先生にかわりはないので、甘えてばかりいられません。先輩の諸先生がたに指導をおおぎ、常に前向きに研修を積み、少しでも先輩に追いつけるよう努力します。

初めてこの帖佐に足を踏み入れたときの印象は、美しいところだな、ということであった。別府川が水々々とたたえて流れ、古い家並みは、大らかで上品な感じをかもしだしているように思えた。そんな環境の中で育ってきた帖佐小の子供たちと出会った日からも一カ月近くがたった。好奇心や不安などでおとなしくしていた子供たちも次第に個々の持味を發揮し始め、私も楽しいやら頭が痛いやらの毎日である。まだまだ教師として足りないところばかりで子供たちに申し訳ないと思ったりいらしたところばかりで、落ち込むことも多い。しかし、子供たちや周りの先生がたの温かい言葉に支えられ、なんとか奮闘しているのである。悔いの残らないよう毎日を精一杯過ごしたい。



重富小 桑代 律子先生 (21歳)

はじめまして。今度、重富小学校に赴任してきました桑代律子です。この春短大をでたばかりで、初任さあふれる私です。剣道をしているので、勇ましいというイメージがあるかもしれませんが、本当はおしとやかで女らしい大和なでしこです。四月当初、四十一人の子供たちを目の前にして、とまどうことが多かったのですが、一月たった今では、子供たちの心と私の心が少しずつではありますが、つながってきたような感じがしています。これからもターボエンジンをフル回転させて頑張ります。どうぞよろしくおねがいします。



重富中 原田 慎二先生 (22歳)

今年の三月、福岡教育大学を卒業して、四月から重富中学校に新採でまいりました。教師になって一カ月が過ぎようやく周囲を見ることができるようになりました。毎日の生徒との交流を通して、生徒の実態や生徒への接し方が少しずつわかってきたような気がします。しかし、専門的なことや、その場に応じた対応などは、未熟な面が多く、周囲の先生がたにいろいろ指導していただかなくてはならず、毎日が勉強です。教師の道は今始まったばかりです。少しでも生徒のなかに入り、共に進んでいくことができるよう頑張りたいと思います。



建昌小  
城戸内晴子先生  
(20歳)

未熟な私ですが、教育の町(始良町)の皆様と一緒に二十一世紀をたくましく生きていく子供たちに育てていきたいと思っています。

今年、大学を卒業して不安と希望が入り混じった気持ちで建昌小に赴任しました。しかし、そんな私の気持ちも緑多き山々や海に囲まれた始良町の雄大な自然そして、人々の温かい人情に触れ「やってやるぞ」という意気込みに変わりました。これまで始良町とは自動車学校でしか縁がなかったですが「いい所だなあ」とつくづく感じています。「一期一会」私の最初の赴任地となりそして二年一組の子供たちと出あったのも何かの縁があったからでしょう。だからこの出会いを大切にしたいと思っています。



建昌小  
中間久美子先生  
(23歳)

最後に、軟式テニス、唯一の趣味である私は、借りた家のすぐ近くにコートがあることに、大変満足しています。

赴任地を言い渡されたその日に重富小を訪れ、その桜の美しさに感激しました。バタバタと過ごし、花見をする余裕など全くなかった私の心は随分と和みました。春休みで静まった校舎に足を踏み入れながら、「どんな子供が待っているのだろうか。早くあいたいな」と期待と不安で一杯でした。三十九名の二年生の担任となり、目がまわるような忙しい毎日。叱っても休み時間になれば話しかけてくる子供たちに教えられることが多いです。



三船小  
堀切智子先生  
(20歳)

「先生、先生」と頼りにし、慕ってくれる子供たちがいる今、とても幸せだ。しかし、それに甘えることなく、自分を磨きながら、一步一步進んでいきたい。

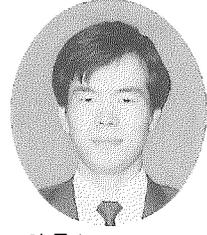
小学校の先生という職業は、幼いころの私の憧れだった。その憧れの職業に就くようになって、現在二カ月め。初めは緊張と戸惑いばかりあって、どうなることかと思っていた。しかし今では、「とにかく一生懸命やってみるんだ」という前向きな姿勢ができてきた。私は二年生の担任だ。低学年は学習だけでなく、生活の面でも細かい指導が必要。そういうことから考えると大変かもしれないが、私はそれだけにやりがいがあると思っている。未熟な私でも、



重富中  
田雅哉先生  
(22歳)

「名瀬市生まれ」  
我師也の言葉のように謙虚さと研究意欲を持って頑張るつもりです。よろしくお願ひいたします。

三月に鹿児島大学教育学部を卒業し、私が初めてこの土地で教師としての第一歩を踏み出したのは、桜の花が、あふれんばかりに咲きほこっている頃でした。その頃は、期待と不安が入り混じった複雑な心境で教壇に立っていたのですが、山の木々も青々としてきた今では、多くの人々のご援助・ご指導のおかげでわずかではあります。その歩みを確実に前にできたと思います。教師としての基礎づくりをこの土地でさせて頂くわけでありませんが、「我以外皆



建昌小  
原園武志先生  
(24歳)

無力ながら、できる限り、時には、それ以上の努力を重ねて、よい教師になるようがんばっていきます。よろしくお願いいたします。

四月一日付けで、建昌小学校の五年二組の担任になりました。小学生の時より十数年教員を夢みて、ついに、小学校の教諭の席に就きました。近年、いじめや自殺など数々の問題があります。私自身は、愛情・思いやり・正義感の強い子を育てたいと思っています。そこから、これらの問題への道も開けていくと信じています。また、日に日に始良町という地域の良さを実感しています。この地域のためにも、やがてこの地域を立派に背負っていきける、すばらしい人間性のある子を育てていくために、



建昌小  
松永ゆかり先生  
(23歳)

私は、クラスの子供たちにとってたった一人の「自分の先生」となるわけだから、月並みではあるが、一生懸命頑張っていると思う。

自由きままな大学生活ともすっかり切り離されて、最近是非常に規律正しい生活を送っているなあと、自分でも感心している。と同時に、大学時代にもっと勉強しておけばよかったと思うことも少なくない。大学時代の勉強といえは、ほとんど試験期間だけのもので、特に勉強したと言えるのは採用試験に備えるのものと、あとは卒業論文ぐらいである。二百字詰原稿用紙に百枚以上も文字を連ねることは、もうないだろうと思う。大学時代のことばかり書いてしまったが、もうこれからは、



# いま学校では



「おはようございます。今日も元気に校庭を走りましよう。」という元気なアナウンスで一日の学校生活がスタートする。

本校では、五十九・六十年の二年間、県教育委員会の「山坂達者実践推進校」の指定を受け、「自らすすんで体力・気力づくりに励む子ども

## 何事にも積極的に取り組む児童の育成



北山小学校  
教頭  
松永 勇先生

の育成」というテーマをかかげ研究に取り組んできた。早朝マラソン・乾布まきつ・仲良し体育（固定施設をサーキット化して利用・短距離走、なわとび等を交互に組み合わせ）を児童の体力・能力に合わせて、楽しみながらできる

体力づくりをめざして実践してきた。児童が、自分の体力を良く知り、劣る面を少しでも伸ばそうと自分にあつた運動メニューを作り実践した。努力の跡、成長はみんな認めほめてやった。先生達も、個人個

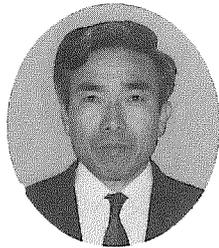
人の体力・性格を細かく分析し、実態に即した適切なアドバイスを与えた。これが意欲付けに大きな役割を果たした。成果の一つとしてインフルエ

である。これを契機にして本年もさらに実践を積み重ねている。「体力づくり」という一つの実践をとおして子どもたちは『やればできる』という事を身体を通して学んでくれた。体力づくりと共に本年度は「読解力を高めるには」というテーマをかけた学力向上にも取り組んでいる。

はインフルエンザによる欠席は皆無であった。どんなに寒い日でも、ほとんどの子が体育服を一枚着ただけで冬を乗り切った。

三十一人と数は少ないが、早朝マラソンを終えた子供たちの元気な朗読が、どの教室からもこだましてくる今日この頃の北山小である。

## 体力づくりと豊かな心の育成



三船小学校  
教頭  
横山茂光先生

くりと、気力、意志力を育てるために、毎朝続けている。

落ち葉拾いによる堆肥づくり、種子まき、育苗から開花まで児童に体験させている。

また、一人二鉢栽培を体験させる中で、自然に目を向け自然を愛し、自然の美しさに感動する、すなおで豊かな心を育てることをめざしている。

小運動会では、六年生全員が軽業師のように一輪車を巧みに乗りまわし、リレー競走を行った。リレー競走であり、一人でも乗れない児童がいるとリレー競走は成立しないが全員が乗れることに感心する。

### 豊かな環境で

### 豊かな心を

子ども達の顔は紅潮し、息がはずむ。それでも走り続ける子ども達。たくましい体力づ

「花と緑の教育の推進」の地区研究指定を受けて二年め。学校教育目標にも掲げ、教児一体となって取り組んでいる。

この花はちようちよが飛んでいるようだね。」など語りかける子どもの瞳は

子どもたちは、とても器用

男女雇用機会均等月間

経済発展を支える

女子労働者

六月は「男女雇用機会均等月間」です。

企業の雇用管理の中で募集、採用から定年・退職まで、男女の均等な機会と待遇の確保を促進するための「男女雇用機会均等法」が施行されて二か月たちました。六月を「月間」に定めたのは、この新しい法律の内容をより多くの人

人に知ってもらうためです。この機会に、男女の雇用機会均等について一度身近なところから見直してみたいものです。

全労働者の三分の一は女性

「男女雇用機会均等法」が

生まれた背景には、いくつかの事情がありました。まず、平均寿命の伸びや出生率の低

下、家事労働の軽減などで、「働きたい」と希望する女性が増えたことです。六十年には女子労働者が千五百四十八万人にのぼりました。実に全労働者の三分の一を超え、わが国の経済社会の発展は、今や女子労働者を抜きにして考えられなくなってきました。

意欲と能力が

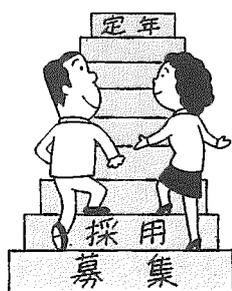
発揮できる環境に

このようなことから、わが国でも、意欲と能力のある女子労働者がその力を十分に発

揮できるよう、環境の整備が求められていました。

新しい法律は、事業主に対し、募集や採用、配置・昇進について男女均等な取扱いに努めることを求めるとともに、一定の教育訓練、一定の福利厚生および定年・退職、解雇について、女子であることを理由として差別的取扱いをすることを禁止しています。

また、あわせて労働基準法を改正し、産後の休業期間をこれまでの六週間から八週間にするなど母性保護措置の拡充を図っています。

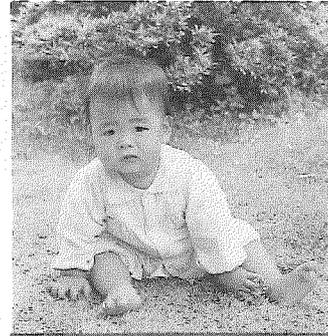


一方、女子の時間外労働・休日労働、深夜業の規制については、男女の機会均等を進める観点から緩和されました。

わが家のアイドル (健康優良児)



指宿幸奈ちゃん



下神大輔くん

指宿隆一さん]の長女  
まゆみさん  
はじめまして、わたし愛称「子ブタちゃん。こと幸奈といひます。このごろようやくスカートが似合うようになりました。でも、足が太いので少々はずかしいなー。食べ物は好き嫌いがなくなっても食べます。なかでもメン類が大好きです。今はひとり娘のため、いたずら好きで毎日お母さんを困らせています。  
(昭和60年1月6日生まれ 青葉台)

下神 治さん]の長男  
千代子さん  
こんにちわ、ぼく大輔といひます。姉2人に、ぼくの3人兄弟です。生まれつきのミルク嫌い、母乳ひと筋。これにはお母さんも困ったそうです。でもそのせいか体だけはしっかりしているよ。体重は12kgぐらいになりました。最近では、つかまり立ちもチラホラです。皆さんヨロシクネ。  
(昭和60年6月30日生まれ 錦原東)



広がれ コミュニティ  
健康によい自然食品づくりを通して、地域内の仲間づくりやコミュニケーションを深めようとか、あさひ団地なかよしグループ(日高寿子さん他四人)は、四月十一日、北山生活改善センターで、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中、手づくりみそや焼肉のタレを作っていました。



## お知らせ

### 空き缶ポイ捨てはやめよう

暑くなると、のどをうるおすために、自動販売機で缶入り飲料を買うことが多くなります。ところで、飲み終わった空き缶、あなたはどのようにしますか。だれも見えていないからといってポイッと道端なら

どに捨ててしまおう人がまだまだ多いようです。毎年、全国で百億缶を超える缶入り飲料が生産され、その約一割(十億缶)が空き缶として「ポイ捨て」されているとの報告もあります。実に国民一人当たり約十缶ずつ捨てている勘定になります。飲み終わった空き缶はゴミ箱へ、また、落ちている空き缶を見つけたら拾い、ゴミ箱に入れる——このようなことを実践して、空き缶のないきれいな町づくりを心がけましょう。

町職員人事異動 4月1日付				
新所属	新職名	氏名	旧所属	旧職名
課 業 会 課	商 工 水 産 係 長	山 元 憲	耕 地 課	管 理 係 長
農 委 員 会	農 業 地 係 長	田 中 皓 之	地 産 課	商 工 水 産 係 長
住 民 課	記 録 係 長	達 野 善 章	農 業 委 員 会	地 産 係 長
耕 地 課	管 理 係 長	山 口 正 幸	住 民 課	記 録 係 長
経 済 課	主 事	花 田 正 浩	土 木 課	主 事
住 民 課	〃	柳 川 浩	生 務 課	〃
保 衛 課	〃	野 下 芳 一	税 務 課	〃
福 祉 課	〃	原 田 正 一	企 画 課	〃
庶 務 課	〃	湯 脇 信 一	計 画 課	〃
選 挙 課	〃	栗 下 幹 男	福 祉 課	〃
福 住 課	〃	藤 崎 千 秋	庶 務 課	〃
教 員 課	〃	横 山 茂 樹	住 民 課	〃
社 教 員 課	〃	榎 田 敏 行	小 学 校 教 育 課	〃
	学 校 教 育 課	川 崎 修 二	山 小 学 校 教 育 課	〃
	学 校 教 育 課	梅 木 博 人	西 教 育 課	〃

## 食事こそ家族のきずな



こつてりした料理を好む子供、あっさりしたものをお食べしたい大人、塩分を控えなければならぬお年寄り。といったように、食事に対する要求は、年齢や体の状態、好みによって違います。同じ家族とはいえ、

子供からお年寄りまで、だれにも喜ばれる食事を作るというのは至難のわざでしょう。材料や料理のとり合わせに気を配ったりして、主婦は家族それぞれの好み、要求に沿うようやりくり算段しなければならぬからです。しかし、そう努力することが、結果的に栄養素のバランスもとれた食生活につながっていくのです。

## 心のひだを広げる 食事づくりを

女子栄養大学教授 足立己幸  
食生能学

小学生が持参したお弁当を、どんな食品が多く使われているか調べてみますと、どのお弁当も盛りつけはたいへんきれいなのですが、内容はどれも同じような加工食品が多く、食品の組み合わせの単調さは否定できません。また、全体的に野菜の量が

少ないようでした。加工食品や惣菜食品は、材料がすべて組み合わせ済みですから、家族の体の状態や好みに合わせて量や味つけを調節する、といったことがほとんどできません。家族全員が食べることを大切に

